

## 事務事業評価表（建設事業等）

1次評価日（主幹等） 26年3月31日

2次評価日（課長等） 26年3月31日

1 事業名	都市計画道路東町線整備事業			コード	141106
2 担当部課	部等	建設水道部	課等	都市計画課	作成者 田中 哲夫
3 事業概要	目的体系	基本目標	快適に生活できる、都市機能の充実したまち		
		政策	交通網の整備	施策	道路の整備
		予算科目	東町線整備事業費*(予算なし)	業務委託	一部委託
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし

## ●事業の実施内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）				
事業の概要 （簡潔に）	岡谷市のほぼ中心を南北に走る幹線道路として、国道20号、142号バイパスへのアクセス及び市街地へのアクセス道路を整備する。				
目的	対象者	道路沿線住民及び道路利用者			
	意図	道路の拡幅、歩道の整備により、車、人の安全を確保する。			
5 事業の必要性	*事業を計画した当時、この事業が必要になった状況・理由				
現市道22号線は、富士見ヶ丘団地、上の原小学校及び出早公園に通ずる幹線道路であるが、国道20号バイパスの通過により現行路線の交通体系の見直しが必要となった。そのため、国道20号、142号バイパスが供用されることに伴い、これにアクセスする道路として、当該路線の整備を推進する。					
6 事業の全体計画	*各年度の取組計画				
予定全体事業費	1,406,000,000	円	事業期間	H15～	
23年度まで					
24年度	第3期工区（今井旧道～国道20号）の用地買収に向けての交渉				
25年度	第3期工区（今井旧道～国道20号）の用地買収に向けての交渉				
26年度以降	第3期工区（今井旧道～国道20号）の用地買収に向けての交渉				
7 事業の実施内容	*各年度の進捗状況				
23年度まで	第2期工区までの完了、供用開始				
24年度	事業反対者への協力依頼				
25年度	事業反対者への協力依頼				
前年度の課題への対応	事業反対者に対して粘り強い交渉を行なう。				

## 8 コストの推移

\* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度まで(累計)	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	954,502,739	0	0	0
経常経費		0	0	0
臨時的経費	954,502,739	0	0	0
* 臨時的経費の説明				
② 人件費		800,000	800,000	0
正規職員の人数(人)		0.10	0.10	0.00
③ 合計コスト(①+②)	954,502,739	800,000	800,000	0
前年度比			100.0%	0.0%
財源				
内訳				
一般財源	203,202,739	800,000	800,000	0
特定財源	751,300,000	0	0	0
* 特定財源の説明	地方特定道路事業債			

## ●事業の評価 (CHECK)

### 9 事業の進捗状況

区分	23年度まで(累計)	24年度	25年度	26年度(予算)
進捗率				
直接事業費の執行率	67.9%	67.9%	67.9%	
その他の進捗率				
* その他の進捗率の説明				

事業をとりまく環境変化	今まで	(これまでに生じた政治・経済・文化などの状況変化のうち、この事業に影響があったこと) 平成21年度に第2期事業区間の完成により、第1期事業区間と合わせて広域幹線道路国道20号バイパスから今井旧道間が供用開始された。
	今後	(26年度以降に予測される政治・経済・文化などの状況変化のうち、この事業の進行・完了に影響すると思われること) 国道20号、142号バイパスのアクセス道路として、また地域の土地利用のためにも、残る第3期工区(今井旧道から国道20号区間)の早期完成、供用が求められる。

## ●改善の内容 (ACTION)

### 10 今後の課題と対応策

今後の課題	(環境変化を考慮して事業を進めていく上で、26年度以降に課題になること) 第3期事業区間において事業自体にたいして強固に反対する地権者がいることから、今後早期に協力、理解を得ていくためにどのようにしていくかが課題である。
課題への対応策	(上記の課題をふまえて26年度に実施する、具体的な対応方法) 第3期事業区間において事業自体にたいして強固に反対する地権者がいることから、地元区や地区役員等の協力、提言を得ながら交渉を重ねる。

## ●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	26年度より他の事務事業と統合	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	B
-----------	-----------------	---	---